

「川辺川ダムと私」

～人吉の、とある建設会社の挑戦～

三和建設(株)

代表取締役 佐藤圭



今日は、
川辺川ダムの是非を
話したいわけで
ありません！





今日は、
三方良しの取り組みを
通じて
「いきいき！していく話」
をしに来ました。



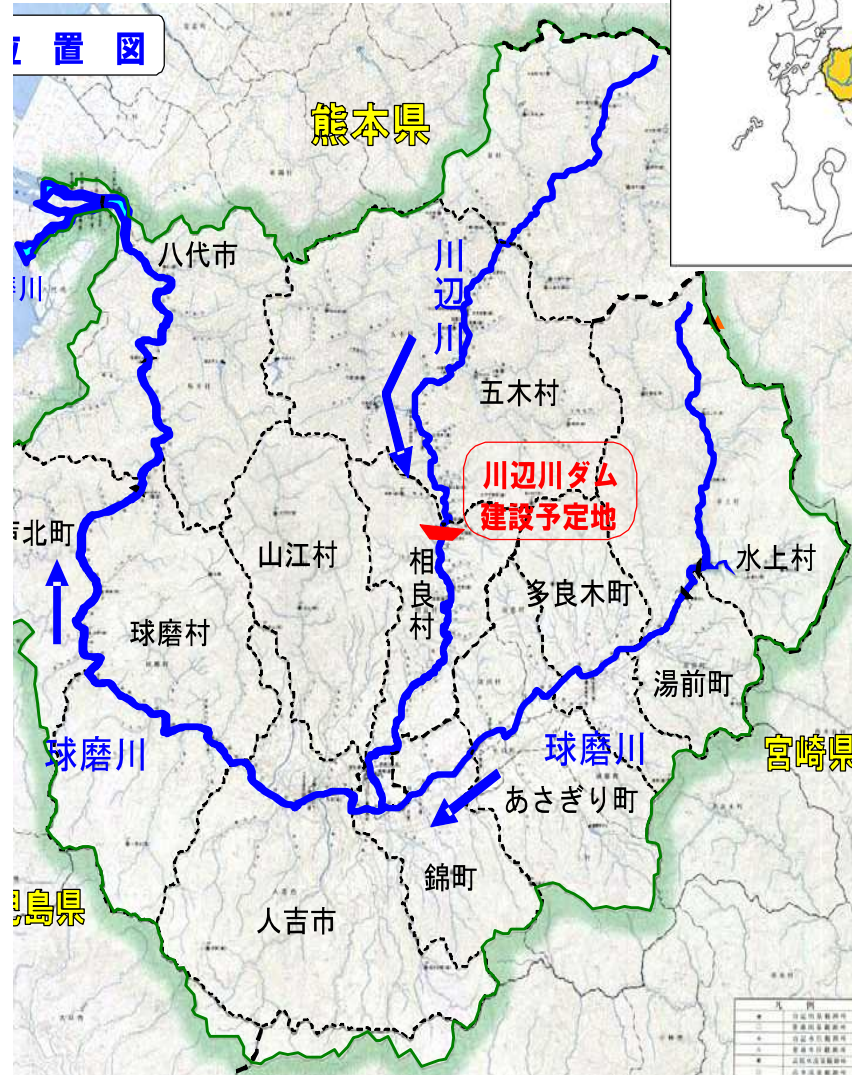


今年4月 祝 日本遺産 第1号認定！

相良700年が生んだ保守と進取の文化
～ 日本でもっとも豊かな隠れ里 — 人吉球磨



川辺川ダム 建設予定 位置



川辺川ダム

昭和38年8月、39年8月、40年7月

球磨川流域で3年連続の豪雨による大災害

昭和41年 4月 球磨川水系工事実施基本計画策定

昭和44年 4月 建設事業着手

そして、約40年以上の時間が経過し、

平成20年人吉市長、相良村長、熊本県知事白紙撤回、

平成21年当時前原国土交通大臣「ダム本体工事中止」表明

現在は、

「ダムによらない治水対策」(八代河川)

「五木村生活再建策」並びに

「川辺川流域砂防事業」(川辺川)

を取り組んでいる。

2008年帰郷。

三和建設の経営悪化

友人の地場建設業バッシング

そんな時、ふと思ったこと

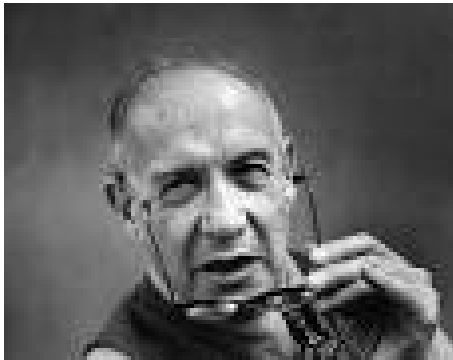
近くのコンビニが潰れた時と
うち(三和)が潰れた時と
どっちが、悲しんでくれる人が
多いだろうか？

「三方良し」との出会い

「三方良しの公共事業改革」を読む！



ドラッカーの問い。



顧客は誰か？

P.F.ドラッカー

まず・・・自分らが襟を正して
地元の友人から
褒められる
会社になりたい、業界になりたい。





人は立場で生きている。

司馬遼太郎

地域の方との 共通理解の最初の1歩 まずは理解してもらおう！



「あんたたちは工事が
早かもん、
綺麗に出来てよかったー！
と言われ、
又舗装工事来てね
とも言われれました。
とても嬉しく思いました。」

発注者との 共通理解一



信頼

五木村生活再建を
1日でも早く実現する



顧客に対して何をすべきなのか？

共通理解に
手間ひま
かける



人が変化を受け入れないのは、
彼らへのメリット(**WIN**)を示しきれて
ないから。

—ゴールドラット

TOC-CCPMについて少しだけ・・・

2009年カンファレンス ゴールドラット
「国交省から流れるフローを考える」

会社を根底から変えていくツールなので
取り組み自体を評価すべき

これからの三方良し公共事業の

最大のテーマ

少子高齢化

地方消滅

さらなる進化.....

新しい地場建設業の役割

果たして現場だけやっていたらいいのか？

新しい地場建設業⇒地域(ローカル)建設業

フローを待つのでく
フローを起す。

自分たちの町は
自分たちでつくる。内輪もめしている場合でない！

いつまでも「悪者」では
フローは起こせない。
つまり地域活性化しない。

我々は地域のリーディングカンパニーに
なれる！なるべき！

地域の「リーディング・カンパニー」 になるべく...



ご静聴
ありがとうございました。

